

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ラグビーを通じた多世代交流と地域振興
事業主体 (連絡先)	NPO 法人 絆八ヶ岳ラグビークラブ
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	664,590 円 (うち支援金: 485,000 円)

事業内容

毎月第2・第4日曜日を基本に月2回、年間で計23回開催。延べ参加人数は359名。昨年から引き続き、世代や地域の垣根を越えてラグビーを通じた多世代交流ならびに地域振興の場として活動を行った。ワールドカップ開催年度ということもあり、子どもたちのスポーツの選択肢を広げ運動が苦手な子どもでも活躍できるセカンドプレイスとして、まずは楽しくラグビーに親しんでもらうことを目的とした。

昨年よりも応用的なアクティビティを増やし、毎回の活動の最後にはタッチフットもしくはタグラグビーのチーム戦を行った。パスやボールキャッチがままならなかった子どもたちもかなりレベルが上がり、保護者も混じってとても盛り上がる場面が多々見られ、親子にとって交流の場にもなった。

事業効果

- ①下は3歳、上は70代まで幅広い世代がグラウンドで一緒に過ごす時間があり、交流の機会が生まれた。
- ②学区や居住エリアに関係なく、富士見高校OBや岡谷工業高校OBなどを中心としたラグビー経験者同士、子ども同士のコミュニティを広げることができた
- ③最終活動日に岡谷工業高校ラグビー部の監督(勝野大さん)が来訪し、指導してもらった。広域アドバイザーとして今後もクラブに関わってくださる旨、申し出があった。
- ④活動中は名前呼び合い、学年も関係なく大変仲良くみんながラグビーを楽しむ様子が見られた。学校とは別の居場所・仲間づくりができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・親子で体験参加してくれることも増えたので、引き続き正会員を増やすべく市町村の垣根を越えて広域活動をおこなっていく。
- ・原小学校の校庭をメインで活動しているが、冬場(12月~3月)はスケートリンクになってしまい活動場所の確保に苦労した。来年度から原村社会体育館も土日の利用が不可となるため、冬場の活動場所をエリアを広げて確保していく。
- ・岡谷工業高校ラグビー部や松本国際中学校ラグビー部とつながりもつくれたので、合同練習や見学参加の機会を儲ける



【原小学校での活動風景】

【目標・ねらい】

- ①多世代交流
- ②地域振興(コミュニティづくり)
- ③ラグビーの振興
- ④子どもの居場所・仲間づくり

※自己評価【 B 】

【理由】

正会員は昨年度見込んでいた10名には満たなかったが、今年度後半から参加している親子数組が既に入会の意思を示してくれている。冬場の活動場所確保が課題で、3月に貴重な1回を中止せざるを得

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある